

氷川町地区まちづくり方針（素案）に関する アンケート調査結果報告書

目 次

1. 調査概要	1
2. アンケート調査結果	
Ⅱ-1～6	2～6
Ⅲ-1～3	5～9

1. 調査概要

- 調査対象者：氷川町地区内の土地及び建物所有者
- 調査方法：郵送、Web アンケート
- 調査期間：令和7（2025）年12月25日～令和8（2026）年3月31日
- 配布数：4,613件
- 回収数：611件（内訳：郵送388件、Web223件）
- 回収率：13.2%

2. アンケート結果概要

【概要】

調査対象者：氷川町地区内の土地及び建物所有者

調査方法：郵送、Web アンケート

調査期間：令和7（2025）年12月25日～令和8（2026）年3月31日

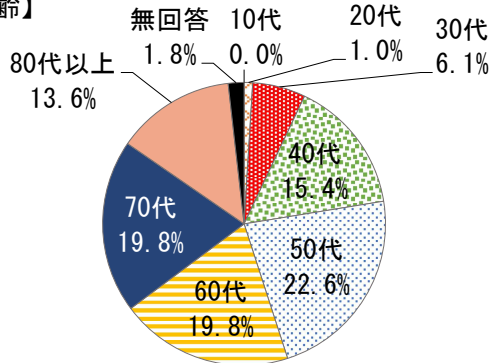
回収数：611/4,613件（回収率13.2%）

全体として各設問に対して概ね7割～8割程度の前向きな回答が得られた。

準防火地域の指定については、「よいと思う」に8割近い回答が得られた一方で、費用負担について懸念する意見も見受けられたことから、費用等の補助についても検討が求められる。

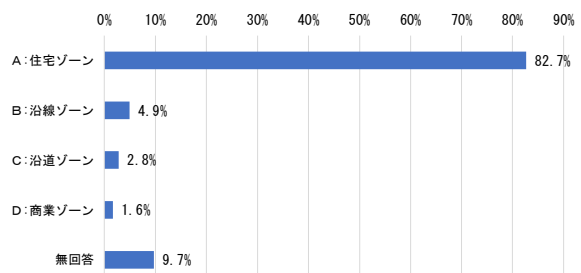
地区計画については、制度の導入は「よいと思う」に8割近い回答が得られ、規制内容についても「よいと思う」に7割近い回答が得られた。規制内容における不滿意見として高さ制限では、日照について懸念する意見が見受けられ、垣又は柵の構造では、プライバシーや防犯について懸念する意見が複数見受けられる結果となった。

【年齢】



年齢の割合は50代が最も多く22.6%、次いで60代が19.8%、70代が19.8%。

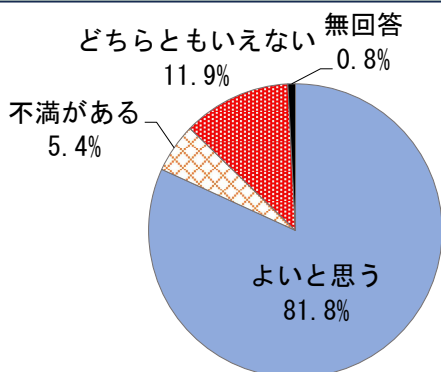
【所有エリア】



「A：住宅ゾーン」が最も多く82.7%であり、次いで「B：沿線ゾーン」が4.9%。

【Ⅱ-1】

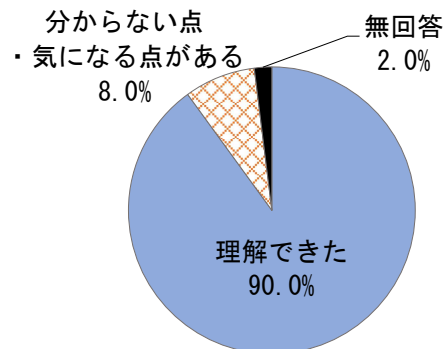
土地区画整理事業を廃止し、より効果的かつ現実可能な新たなまちづくりとして、まちづくり方針（素案）を作成しました。これにより、「安全・安心な住みやすいまちづくり」を進めることについて、どう思いますか？



「よいと思う」が最も多く81.8%であり、次いで「どちらともいえない」が11.9%。

【Ⅱ-2】

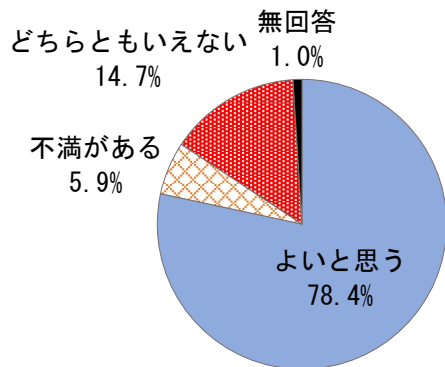
『準防火地域の制度内容』で分からない点や気になる点はありませんか？



「理解できた」が最も多く90.0%であり、次いで「わからない点・気になる点がある」が8.0%。

【Ⅱ-3】

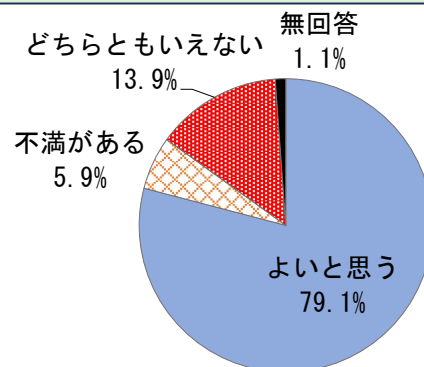
延焼による火災被害の防止につながる『準防火地域指定』について、どう思いますか？



「よいと思う」が最も多く78.4%であり、次いで「どちらともいえない」が14.7%。

【Ⅱ-4】

良好で安全な住環境の形成のために、『地区計画制度』を本地区へ導入することについてどう思いますか？

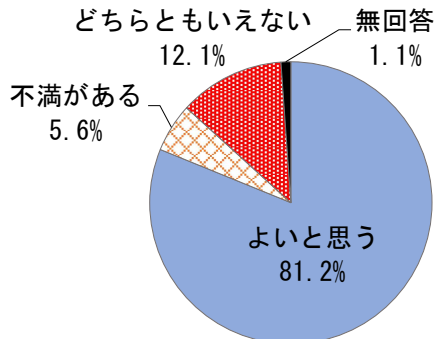


「よいと思う」が最も多く79.1%であり、次いで「どちらともいえない」が13.9%。

【Ⅱ-5】

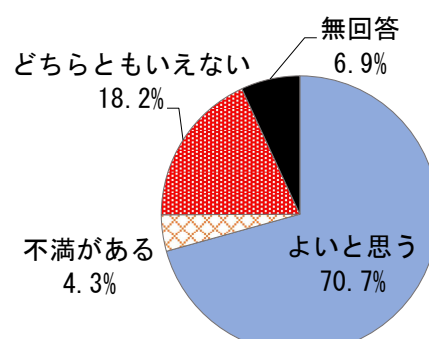
『地区計画(素案)』では、土地区画整理事業による現在の住宅地の環境を保つために「建築物等の高さの最高限度」について制限を設けました。各地区の制限についてどう思いますか？

【住宅ゾーン】



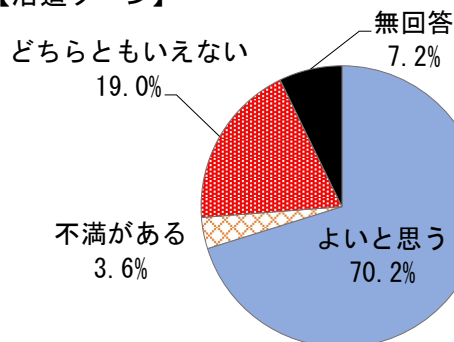
「よいと思う」が最も多く81.2%であり、次いで「どちらともいえない」が12.1%。

【沿線ゾーン】



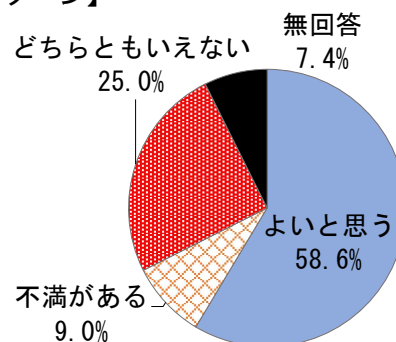
「よいと思う」が最も多く70.7%であり、次いで「どちらともいえない」が18.2%。

【沿道ゾーン】



「よいと思う」が最も多く70.2%であり、次いで「どちらともいえない」が19.0%。

【商業ゾーン】

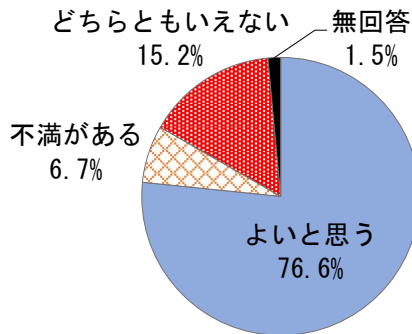


「よいと思う」が最も多く58.6%であり、次いで「どちらともいえない」が25.0%。

【Ⅱ-6】

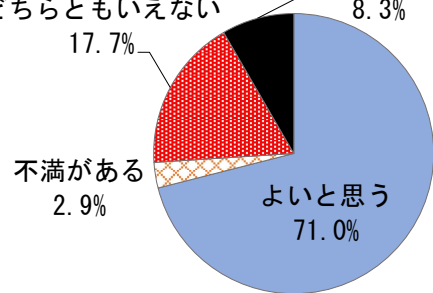
『地区計画(素案)』では、災害時にブロック塀の倒壊を防ぎ交差点箇所等の見通しを良くするためや、緑豊かな住環境を創出するために「垣(かき)又は柵(さく)の構造」について制限を設けました。各地区の制限についてどう思いますか？

【住宅ゾーン】



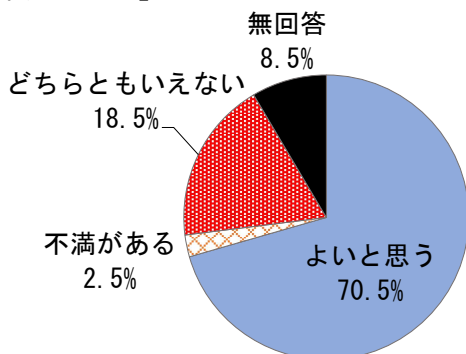
「よいと思う」が最も多く 76.6%であり、次いで「どちらともいえない」が 15.2%。

【沿線ゾーン】



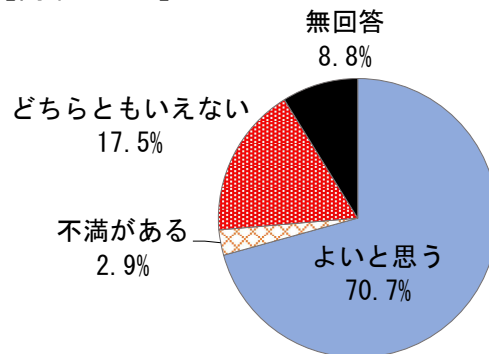
「よいと思う」が最も多く 71.0%であり、次いで「どちらともいえない」が 17.7%。

【沿道ゾーン】



「よいと思う」が最も多く 70.5%であり、次いで「どちらともいえない」が 18.5%。

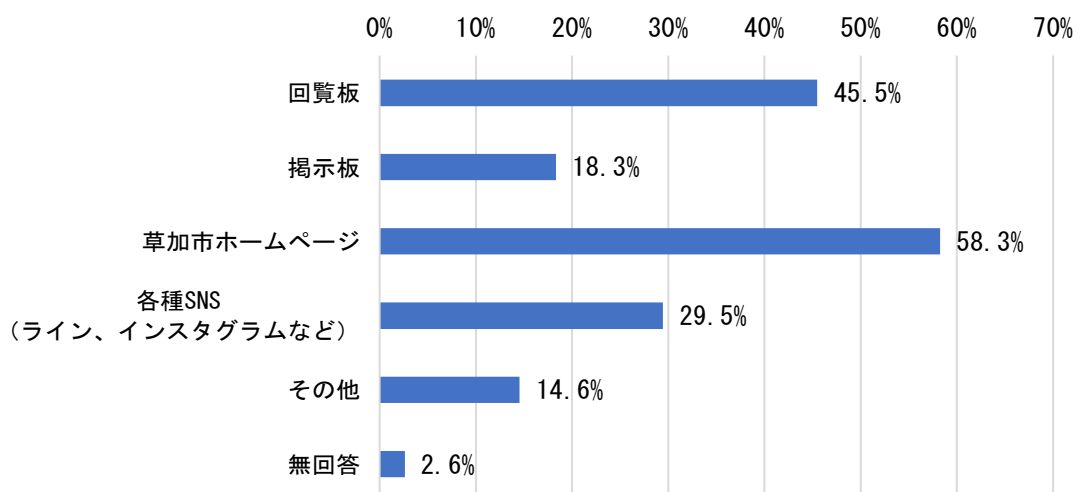
【商業ゾーン】



「よいと思う」が最も多く 70.7%であり、次いで「どちらともいえない」が 17.5%。

【Ⅲ－１】

まちづくりの情報について、多くの方々に知ってもらい、意見をいただきたいと思っております。
あなたが情報を得やすい情報媒体は何ですか？



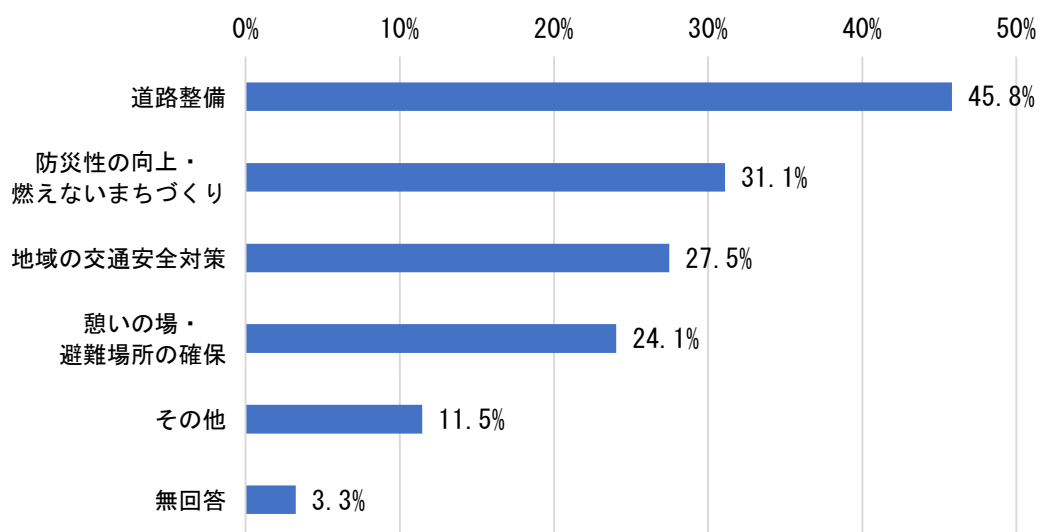
「草加市ホームページ」が最も多く 58.3%であり、次いで「回覧版」が 45.5%。
また、その他の意見として、「市の広報」や「郵便物」等が挙げられた。

No.	設問項目	回答数	構成比
1	回覧板	278	45.5%
2	掲示板	112	18.3%
3	草加市ホームページ	356	58.3%
4	各種 SNS (ライン、インスタグラムなど)	180	29.5%
5	その他	89	14.6%
	無回答	16	2.6%
合計		1031	

	その他の主な媒体	件数
1	市の広報	40 件
2	郵便物など	29 件
3	チラシ・ポスティングなど	6 件
4	メール、ライン等	4 件

【Ⅲ-2】

当地区の今後のまちづくりにどのようなことを期待しますか？



「道路整備」が最も多く45.8%であり、次いで「防災性の向上・燃えないまちづくり」が31.1%。また、その他の意見では、防犯に関する意見や公共施設の整備や維持管理に関する意見等が挙げられました。

No.	設問項目	回答数	構成比
1	道路整備	280	45.8%
2	防災性の向上・燃えないまちづくり	190	31.1%
3	地域の交通安全対策	168	27.5%
4	憩いの場・避難場所の確保	147	24.1%
5	その他	70	11.5%
	無回答	20	3.3%

合計 875

【Ⅲ-3】

当地区のまちづくりについてのご意見をご記入ください。

氷川町地区まちづくり方針（素案）に関する自由意見では、「道路整備」が最も多く 62 件あり、次いで「公園、広場の整備」に関する意見が 26 件。

また、氷川町地区に関する自由意見では、「防犯面や治安を懸念する意見が多く」挙げられた他、「まちづくりに対する期待について」が最も多く 36 件あり、次いで「防犯面について」に関する意見が 29 件。

氷川町地区まちづくり方針（素案）に関する意見数

分類	件数	分類	件数
道路整備	62	都市計画道路	5
公園、広場の整備	26	防火への取組	5
まちづくりの進捗	11	地区計画（垣又は柵の構造）	3
説明内容に関する意見	7		

主なご意見（件数の多かった意見を中心に掲載し、個人に係る意見は掲載していません。）

分類	内容
道路整備	道路が狭い箇所が多く、生活道路が抜け道として利用されている状況を解消するために道路を整備してほしい。
	既存道路の凹凸や段差の解消してほしい。
	防災性の向上や歩行者の安全性向上の観点から道幅の広い道路の整備を進めてほしい。
公園、広場の整備	公園が少ない。公園を増やしてほしい。
	公園内の遊具の数が少ない。公園利用に係る制約が多い。
まちづくりの進捗	計画立案だけでなく、スピード感のある整備を進めてほしい。
説明内容に関する意見	一般人にも分かりやすくなるような工夫をしてほしい。
	検討状況の詳細な経過報告と意見を聞く機会を設けてほしい。
都市計画道路	都市計画道路を早期に整備してほしい。計画予定地に建物が建ち並んでおり、整備ができるのか不安。
	西町高砂線の整備に反対。道路を後回しの説明にしているように感じる。説明会出席者数からすると、住民に関心がまだないように思える。周知不足なので、説明会やポスティングだけでなく、個別訪問等をすべきではないか。
防火への取組	新築・建替え時に制限を設けていく方法は良いと思う。幅員が狭い箇所は、道路側へ土地提供をしやすくする仕組みづくり等があるとより良い。
	燃えないまちづくりの推進は喫緊の課題である。強風時に火災があれば、新潟県糸魚川市の大規模火と同等の被害になる可能性が高いのではないか。
地区計画 （垣又は柵の構造）	高いブロック塀は地震による倒壊や防犯上も良くない。 所有している人には、市からフェンスに取替えるようはたらきかけをしてほしい。

生垣は賛成だが、手入れの行き届かない生垣は通行の妨げや、見通しを遮る等、住環境が悪化する恐れがあるため、指導やルールを作るなどしてほしい。

地域に関する意見数			
分類	件数	分類	件数
まちづくりへの期待	36	無電柱化	7
防犯	29	まちの活性化	6
治安	6	まちの将来	4
防災	14	福祉	3
交通安全	11	ゴミ	3
交通マナー	9	その他	35
景観	7		

主なご意見 (件数の多かった意見を中心に掲載し、個人に係る意見は掲載していません。)	
分類	内容
まちづくりへの期待	住み良いまちづくり、安全なまちづくりに期待する。
	次の世代のためにより良いまちになってほしい。
防犯・治安	街灯や防犯カメラの設置を拡大してほしい。
	夜間の治安維持、向上を進めてほしい。
	草加駅西口付近の呼び込みが多い。
	外国人に文化やルールを理解してもらえる取組が大切である。
防災	地震等による大規模災害に備えるべく、災害に強いまちづくりの推進が大切である。
	準防火地域の指定後に建築する場合には、補助金を支給するなどして、建替えを促し早期の防災対応を図るべきである。
交通安全・マナー	地区内の危険箇所の交通規制（一方通行化、速度制限）の強化が必要である。
	自転車の交通マナーに課題がある。
	自転車・歩行者の分離が重要である。
景観	良好な街並みの形成による魅力あるまちづくりの推進が重要である。
	現在の街並みを維持保全する規制が必要である。
無電柱化	道路上の電柱が通行の妨げになっている箇所や交通安全に支障をきたしている箇所が散見される。
	電柱・電線を地中化してほしい。
まちの活性化・将来	都市計画道路整備によって沿道に買い物ができる店舗の出店が進むとよい。
	地区計画によって、防犯等色々な問題を防ぐことにも繋がると思う。避難場所や広場等の取り組みも良いと思う。
	企業オフィス誘致などにより、活性化すべき。健全な街を望む。

	ハード面だけではない街全体のプランニングをもったまちづくりを進めてほしい。
福祉	高齢者にも住みやすいまちづくりを展開してほしい。
ゴミ	ゴミ集積所の数を増やしてほしい。
	ゴミの回収の頻度を増やしてほしい。